

【流域いろいろ】

最近の天草でのスキューバダイビング

中野誠志*

熊本ダイビングサービスよかよか

〒863-0041 熊本県天草市志柿町 6634-10, *e-mail: sayseanakano@gmail.com

概 要

皆さんこんにちは。私は熊本の天草のループ橋にある船の建物で『熊本ダイビングサービスよかよか』と写真事務所をやっております中野誠志と申します。水の国くまもとの「水を撮る民」として認定してもらっています。私の目線で恐縮ですが、Q & A形式を織り交ぜながら、地元天草の海をご紹介します。させていただきたいと思います。

キーワード：天草、スキューバダイビング

Ⅰ 天草について

天草は東シナ海の天草灘、有明海の島原湾、不知火海の3つの海に囲まれており、大小120もの島々で構成され天草諸島と呼ばれています(図1)。その全体の面積は約1,000 km²とも言われており、天草は穏やかな内湾から荒波の外海まで、変化に富んだ広大で多様な海を持っています。

魚類層としては、ダンゴウオやムスジガジといった水温が低い地方で暮らしている魚や、イッテンアカタチやビイドロカクレエビのような砂泥に暮らす生物、チョウチョウウオの仲間の熱帯魚まで、いろんな生物を見ることができます。



図1 高舞登山展望台から天草五橋と雲仙を望む

天草の五和地区には約200頭のミナミハンドウイルカが棲みつき、ごく稀には水中で出会うこともあります(図2)。



図2 天草・五和地区に棲むミナミハンドウ

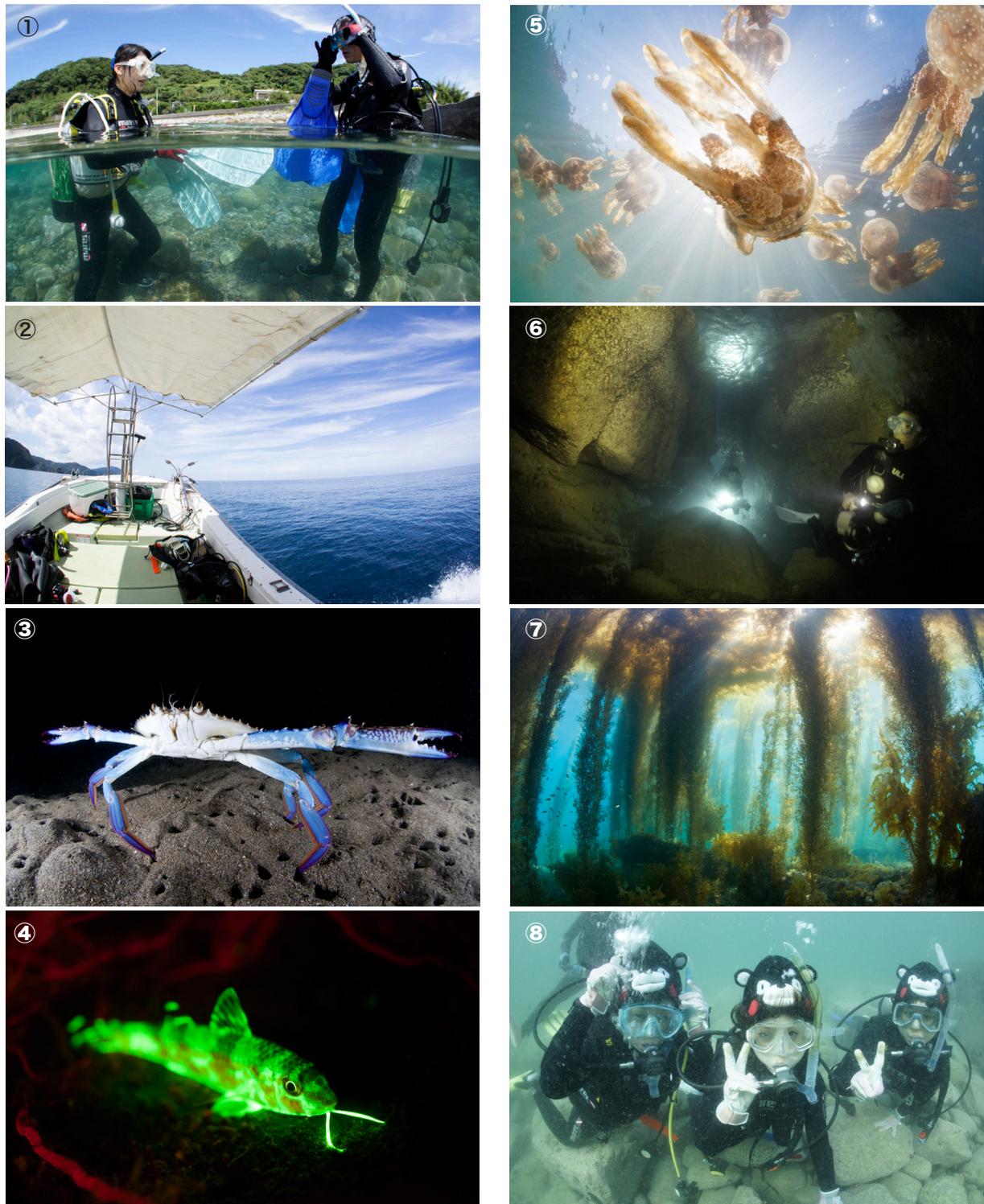


図3 天草での様々なダイビング

- ① ビーチダイビング風景, ② ボートダイビング風景, ③ ナイトダイビング: タイワンガザミ,
④ フローダイビング: ヒメジの蛍光発色, ⑤ タコクラゲダイビング, ⑥ 洞窟ダイビング,
⑦ 海藻ダイビング, ⑧ 体験ダイビング

天草五橋を通じて陸続きとなっているため船を利用する必要もなく、アクセスが便利です。島が大きく、風裏にもダイビングポイントがあるので、年間を通じてクローズする日が台風以外ではないのも特徴です。

●天草へ潜りに行くには？

ほとんどは熊本や福岡のお客さんが、車で日帰りか1泊2日でお越しのパターンが多いですが、関東から湧水ダイビングやタコクラゲダイビング、蛍光発光ダイビングなどをリクエストしてお越しの方もいらっしゃいます。飛行機でお越しの場合、羽田空港や大阪空港→熊本空港が一般的ですが、福岡空港→天草空港という方法もあります。空港からはレンタカーが便利ですが、バスなどの公共交通機関でも天草まで来ることができます。近年、博多からA列車に乗り、三角港からはAラインで船旅を楽しみながら天草に入るルートが人気です。九州新幹線も開通しておりますので、最終日に飛行機を使わないこともできます。

空港利用でお越しの方には、当日からみっちり潜れる熊本空港から30分の湧水ポイントや、大矢野にある最寄りのビーチポイント白涛（しらと）が人気です。

II 天草でのダイビングについて

●どんなダイビングが楽しめるのでしょうか？

ビーチダイビング、ポートダイビング、ナイトダイビング、蛍光発光（FLUO フロー）ダイビングなどが通年楽しめます。体験ダイビングの時期は5～10月頃、9～10月にはタコクラゲダイビングも楽しめます（図3）。

●シーズナリティとベストシーズンを教えてください。

秋に透明度が上がる一般的なイメージと異なり、天草で対馬暖流が強まる7～8月がもっと

も水がきれいになり、水温も高くなるようです。一口に天草諸島とは言っても、結構な大きさがありますので、ポイントごとの透明度・水温の変化もあります。天草の透明度は5mのポイントもあれば、外洋のポートポイントのように透明度20mのところもあります。

<春>

春の天草の海は3月～5月ぐらいになります。冬の間到低下した水温が上昇を始めます。ダンゴウオやたくさんの種類のウミウシが見られ、アナハゼやクジメ、メバルやチャガラなど、冬に生まれた子供たちが目立つのもこの時期です。アオサやワカメ、アカモクなどの海藻も繁り、美しい海藻風景写真も撮影できます（図4）。



図4（上）日本で最初に選定された海中公園の1つ、牛深海域公園のサンゴとソフトコーラル、（下）繁茂するアカモクなどの海草類（撮影地：大矢野町白涛（しらと））

また、クラゲの仲間も多い季節なので、マクロでもワイドでもクラゲを撮影できます。

GWにかけてアオリイカの産卵もピークを迎えます。水温は3月で15～16℃、4月で17～18℃、5月で19～20℃前後です。ドライスーツが便利です。

<夏>

初夏～夏は天草の最高のダイビングシーズンです。陸が暑い分だけ気持ちよくダイビングを楽しむことができます。初夏は6月ぐらいから梅雨明け程度までで水温は22～24℃程度。夏はそれから8月いっぱいぐらいにかけての季節で水温は25～29℃程度です。

6月頃の浅場ではナベカやロウソクギンポなどの求愛や産卵、イシモチやネンブツダイなどの口内保育が始まり、タツノオトシゴの交尾や出産も始まります(図5)。

台風の子節でもあります。台風がない時は海況も安定しているので、いろんな天草のポイントでのダイビングを楽しむことができます。ビーチポイントでのんびり水中写真を撮るのも良いし、沖合のポートポイントへ遠征するのも気持ちいいですよ。



図5 撮影地：天草市高浜町大ヶ瀬

<秋>

秋はタコクラゲや(図6)、ナイトダイビングでの甲殻類、季節来遊魚や回遊魚などの季節。秋の天草は水温も高く、陸上もさわやかで透明度も良好な日が多く、快適なダイビングを楽しむことができます。夏に生まれたクマノミやチョウチョウウオ、その他いろんな種類の魚たちが大きく成長する季節なので、マクロもワイドも見応えたっぷりです。

水温はだいたい9月は26℃前後、10月は24℃前後、11月は22℃前後といったところです。5～6.5ミリのウェットスーツから、ドライスーツへと。



図6 撮影地：タコクラゲポイント

<冬>

12月～2月いっぱいぐらいまでが熊本天草の冬のシーズンです。

12月にはダンゴウオ、クジメやアイナメ、カサゴやメバルやチャガラといった冬に産卵する魚たちが続々と繁殖期を迎え、その命のドラマを見ることができます(図7)。

ウミウシも豊富でミノウミウシ系が目立ち、いろいろな種類のクラゲや、ギマやヒイラギの大群などもたくさん見られるようになります。

水温は1～2月には年間最低水温となり、外洋ポイントで15～16℃、沿岸のポイントでは11



図7 孵化直後のダンゴウオ (体長約5mm)

～13°C程度まで低下します。ドライスーツがおすすめです。

●天草の主なダイビングスタイル (ビーチ, ボート) と, ダイビングポイント数は?

主なダイビングスタイルはビーチです。ご希望によりボートも出航します。ダイビングポイント数は全部で20カ所ぐらいです。

●ここは潜ってほしいというポイントは?

・ゾウさん岩で有名な, 天草で一番人気の地形
ビーチポイント妙見ヶ浦 (図8, 図9)

・マクロダイビングやナイトがおもしろい白涛 (しらと) ビーチ

ギマの大群, ヒイラギの大群, クサウオの幼魚, クダリボウズギス, テンジクダイ, コモンサカタザメ, コウライアカシタビラメなど, 有明海の入り口にあたる白涛ならではの生物たちが見られます。

・テーブルサンゴとソフトコーラルが豊かで, 宇宙を飛んでいるかのような蛍光発光サンゴダイビングが楽しめる牛深 (図10)

・不知火海に面した立 (たて) ビーチ

他では見られないイッテンアカタチなどの砂泥に暮らす生物が見られます。



図8 ビーチポイント 妙見ヶ浦



図9 透明度が高い天草町妙見ヶ浦



図10 牛深 大島のテーブルサンゴ



クマノミの産卵



タツノオトシゴの出産



アイナメの卵



クサウオの幼魚

図 11 天草の海で観察できる生物の例